

全国味噌工業協同組合連合会

(Japan Federation of Miso Manufacturers Cooperatives)



団体の概要

概要及び設立時期

全国味噌工業協同組合連合会は、中小企業等協同組合法に基づき、昭和35年に設立。

目的

会員及びその組合員の相互扶助の精神に基づき、必要な共同事業を行い、もって自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上等を図るため、

- ① 原材料の共同購買並びに斡旋に関する事業
- ② 味噌の共同宣伝及び市場開拓、事業に関する調査研究
- ③ 経営及び技術の改善向上、知識の普及を図るための教育及び情報の提供等を実施する。

代表者

会長 満田盛護

会員

各都道府県 味噌業を営む事業者で組織された45協同組合と1 協同組合連合会の**全46会員**※。会員傘下には、736社が所属。

※令和7年6月25日時点

主な取組

海外におけるジャパンプランドの確立

- ・ 台湾の台北市・高雄市で展示会に出展・試食セミナーを開催
- ・ 台湾バイヤー6社を招致して「味噌蔵ツアー」を実施

海外における販路開拓活動

- ・ 傘下の事業者を取りまとめて、SIAL Paris（フランス・ヨーロッパ最大級の食品見本市）に出展



台北での展示会
(令和6年9月)



バイヤーを招致した
味噌蔵ツアー (令和6年12月)



SIAL Paris（フランス・パリ）
への出展 (令和6年10月)